

一般国道163号（道の駅及び交差点改良）

そうらくぐんみなみやましろむらきたのおおかわら
（相楽郡南山城村北大河原）

一般国道163号は、大阪市を起点とし、三重県津市に至る延長約120kmの幹線道路で、近畿圏と中京圏を結ぶ物流の大動脈であり、名神高速道路や名阪国道等とネットワークして、人々の活動を支えています。

本事業は、安全で快適な道路環境を提供し地域のにぎわい創出の場となる「道の駅 お茶の京都 みなみやましろ村」を南山城村と協働して整備します。

併せて、車両の円滑な通行を図るとともに道の駅がより安全に利用できるように一般府道月ヶ瀬今山線との交差点形状を改良しています。

平成28年度は、京都府が「道の駅」の駐車場、トイレ及び道路情報提供施設を、南山城村が地域振興施設を整備し、平成29年春のオープンを目指します。

なお、「道の駅」整備に併せて交差点改良を推進します。

◎事業概要

全体計画	H27までの実績	H28計画
事業期間：H25～H29 【道の駅 H26～H28】 事業延長：620m 幅員：6.5(13.5)m 面積：5,200m ²	事業概要 道の駅 用地補償 造成工事 交差点 用地補償 築造工事	事業概要 道の駅 駐車場 トイレ 道路情報提供施設 交差点 築造工事
総事業費：約8億円	事業費：3.48億円	事業費：3.24億円

◎事業効果

- 「道の駅」の整備により地域の活性化を図るとともに、災害時の防災拠点として活用することにより、緊急輸送道路としての防災機能の強化を図ります。
- 交差点形状の改良により車両の円滑な通行と安全性を確保します。

整備後のイメージ



現在の状況



【位置図】

